

表紙(P1)―別掲

いわて未来研インタビュー

★ 中心課題は、「産業と経済——AI(人工知能)始めとする科学技術の振興、グローバル化(社会的・経済的な関係の地球規模的拡大)の進展とも関連させて」です。 ★

❀ 国際物流事業等の推進 ❀



海鋒 徹哉 さん

(白金運輸(株)代表取締役社長、奥州市、会員)

相原: ご多忙の中のご協力に感謝します。
まずご略歴を伺います。

海鋒: 奥州市江刺の出身です。水沢高校を卒業後、駿河台大学法学部に進み、卒業後は家族の要請もあり、父(海鋒守氏:現会長)が起こした白金運輸(株)に入社しました。常務を経て社長となっています。青年会議所活動としては、2009年に江刺青年会議所理事長、2013年に岩手ブロック会長を務めました。

相原: 会社の概要をお伺いします。

海鋒: 1974年(S49)に特定貨物自動車運送事業を開始し、現在は貨物自動車運送事



2019年にベトナムに開所した物流センター

業、倉庫業、産業廃棄物収集・運搬業など幅広く展開しています。資本金約 86 百万円、役職員数 277 人となっています。

相原: 最近御社の国際物流事業が大きく注目されています。立ち上げの経緯や考えを伺います。

海鋒: 1998年に入社3年目を迎えていた頃、デフレが進み、安ければ良いの風潮でした。他社との差別化が必要と強く意識しました。営業で歩いていたある社で目に付いた車があり、調べてみると輸出入関連品を運んでいるとわかりました。物流に国境はないとの思いが強まり、このような気持ちを知人に話しているうちに紹介されて貿易業務の経験のある人物に会社に入ってくださいことにな

りました。

2001 年に国際貨物の取次業務を始めました。当初、製紙会社の印刷用 RC 紙(写真用印画紙)の輸出を手掛け、その後自動車部品メーカーの生産ライン、医療機器、草刈機等に広がっていきました。

次第に海外店が欲しい、荷物を出すのも白金運輸、受けるのも白金運輸を実現して地方の会社でありながらオールインワンのフルサービスを実現したいとの夢を持ち、邁進しました。2013 年にホーチミン駐在事務所(编者注: ホーチミン市はベトナムの都市で、市街中心部の旧称はサイゴン)を開設し、「外航海運第二種貨物利用運送事業」の認可を受けたのです。

ベトナムに注目したのは、私が 1 年通った経営戦略研究所の所長さんから東南アジアならベトナムといわれていたからです。親日国であり、平均年齢が若く、成長性が高い、何よりも他の失敗例が教える「ビジネスに宗教がかかわることで起こる問題」の恐れがない点が決め手となりました。

ホーチミンは、ビジネス都市であり、誘致企業も多く来ており、発展性が強いと見ました。

2015 年には国際協力機構の調査事業に採択され、物流センター設置に進んでいきました。調査の過程でタンビンフーミー社を知り、提携しました。フーミー 3 という日系企業向けの工業団地に、敷地 2.25ha を確保し、鉄骨造り平屋約 6,300 m² の倉庫を整備しました。現在、保管面積を大きく上回る沢山の商談が

来ています。将来的には港湾を活用してアジア諸国と県内の企業取引を支援し、県内経済の活性化に貢献したいと思います。

相原: 小口混載輸出が注目されています。

海鋒: 少量・小口の荷物を複数の荷主から集荷して

コンテナ 1 本にして輸出する方法です。

当社の取引企業からニーズがもともとありましたが、岩手県県南広域振興局が取り組む県内港湾を活用した「小口混載輸出ルート」構築実証実験の委託事業者に選ばれました。

第 1 回は 2019 年 8 月で、大船渡の混載貨物専用倉庫(CFS)で食品などの商品を集荷し、韓国や中国に輸出しました。第 2 回は本年 2 月で、江刺の当社 CFS を活用することで参加企業の陸送距離や時間、経費を抑えて利便性向上に繋がりました。コンテナは釜石港から韓国の釜山港に到着後、台湾、ドイツ、香港等に輸送されました。

このようなことは、経済のパイの大きい東京では可能でも東北では難しかったと思います。地方でもできることを確かなものにし、地域貢献を図りたいと思います。

相原: 先進的意欲的取り組みに敬意を表します。ご協力ありがとうございました。



❁ 県都盛岡の新しいまちづくり ❁



内舘 茂 さん
(丸乃タイル(株)代表取締役、(株)理創生活代表取締役、盛岡市、卒塾生、会員)

相原: 昨年 8 月の盛岡市長選に二度目の挑戦をされ、三つ巴の中、僅差で惜しくも届きませんでした。盛岡の新しいまちづくりに関する政策は、多くの市民の共感を呼びました。そのいくつかをご紹介いただき、産業等政策の参考としたいと思います。

内舘: いわて未来研の塾で学んだことも生かしながら、次のような政策を打ち出し有権者に訴えたところです(産業振興等に関する一部の項目の要点を紹介)。

— 以下、質問部分を省略 —



● 中心市街地の復活

「盛岡駅」「バスセンター」という、ふたつの交通拠点まちの中心軸にして、中心市街地を「復活」させます。大型商業施設やネット通販には無い、お店をはしごして買い物をする楽しさ、商店街の人たちとの心ある交流、このまちにしかない食体験、そんな賑やかな人の流れを呼び戻す取り組みを行っていきます。

2025 年以降、ストレスなく、盛岡市



内を移動できるまちづくりとして、市民のみならず国内外観光客にもわかりやすく楽しい、バス・徒歩・自転車、そして郊外のミニバスや福祉タクシーによる都市交通網の整備を進めていきます(編者注:所謂 2025 年問題を意識)。

また、交通系電子マネーとお買い物ポイントとを 1 枚のカードに集約し、お買い物ポイントがバスの運賃としても利用できる「盛岡オリジナル地域通貨システム」を導入。ふるさと納税返礼品として活用したり、ボランティア活動に対してポイントを付与し、ボランティア意欲も高める新しい仕組みとして活用します。それらを通して地産外消・域内経済循環を推進します。

● 世界に伸びゆく北東北の拠点都市へ
「金融、商業、文化の盛岡市」、「医療と流通に強い矢巾町」、「教育と ICT に強い滝沢市」。各々の強みと特徴を活かした横の連携で力強い協力関係を築き、世界とも戦える魅力ある都市機能を構築。

「役割分担+細心・的確な配慮+運営規模を大きくすることで得られる利点」の相乗効果で、観光と産業両面において世界にひとつの都市圏を創り上げていきます。

✿ ロボット系の事業と魚の群れ
を動かす生体群制御開発 ✿



古澤 洋将(ようすけ) さん
(炎重工(株) 代表取締役、滝沢市)

— 以下、質問部分を省略 —



● 出身や会社の概要など

- ♥ 1982 年の生まれで滝沢市の出身です。地元の高校を出て筑波大学・大学院で学びました。その後同大学発のベンチャー企業に勤務しました。
- ♠ 私が地元に戻って 3 年目の 2016 年に会社を設立(現在の資本金 4,900 万円)しています。製品開発として船舶ロボットを手掛け、受託開発として産業機械のロボット化などを行い、研究開発として生体群制御(魚介類などの水中の生物群を電気的手法を用いて、水中の任意の位置に誘導・固定する技術—世界初)に取り組んでいるところです。
- ◆ 会社の名前は、盛岡市在住の作家・高橋克彦原作の NHK 大河ドラマ「炎立つ」にあやかり、奥州藤原氏が築いた平泉のように、東日本大震災後の故郷が大きく発展することを願い命名しました。
- ♣ 国連によると、世界の人口は 76 億人(2019 年)から 97 億人(2050)へと急激に増加します。一方で、人口増加に見合う



食糧生産の拡大には課題があり、当たり前のように食べている魚・肉・穀物が不足する可能性が懸念されています。特に水産業は労働集約型産業のため、課題が多く残されています。弊社は、自動化をキーワードとした新技術を用いて、新しい水産養殖の生産モデル構築を目指しています。

● ロボット開発に取り組む

- ♥ 実家は兼業農家で、父が勤務する近くの東北農業試験場に小さいころから出入りし、農作業や農機具の整備などを見てきました。もっと能率のあがる機械を自分で作りたいという思いが高じて、ロボット開発の道に進んだ気がします。

- ♠ 小中学生時代には BASIC のプログラミングやインターネットを利用したゲーム作成と雑誌への投稿などをしていました。

高校からロボットに取り組み始め、岩手大学が主催するソフトウェアコンテストやロボコンにも出場しました。

大学進学後の NHK 大学ロボコンではアイデア賞を受賞できました。

- ◆ 大学・大学院では脳・神経科学、行動科学、ロボット工学、情報技術、人工知能、システム統合技術、生理学、心理学、哲学、法学、経営等様々な学術領域を融合させたサイバニクスという包括的な学術分野で

学びました。

- ◆ 大学院終了後、上述のベンチャー企業で働き始めました。同社がサイバニクス(编者注:筑波大学山海嘉之教授が確立、命名した、新学術分野)の技術により開発した製品にロボットスーツ「HAL」シリーズがあり、その中で私が携わったものに、

「HAL 福祉用下肢タイプ」と「HAL 医療用下肢タイプ」があります。これは、下肢に障害があったり、脚力が弱くなった方々がロボットスーツを下肢に装着し、身体を動かそうとしたときに発生する微弱な「生体電位信号」を検出することで意思に従った動作(歩行支援)を実現するものです。また、それを繰り返すことで脳との繋がりが強化され、機能改善・機能再生が促進されます。私のロボット開発における大きな自信となりました。

● MarineDrone(船舶ロボット)

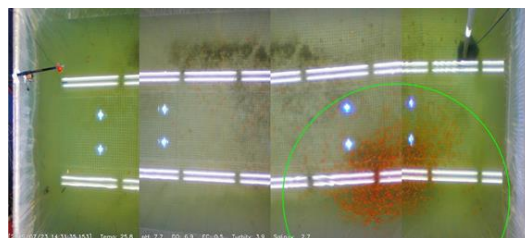
- ♥ 船舶ロボットは、水上で利用可能な船舶版ドローンです。水上設備の警備・水産業・設備メンテナンスなどの様々なシーンで利活用できるものです。

船体は最大 15 kg の積載重量を持ち、目的に応じて機能を拡張できます。

- ◆ 船舶ロボットは、大学での研究はあつても国内で製造する会社はなく、当社のみと



船舶ロボットが海鳥などの飛来を妨害し、養殖魚の被害を低減



約 3,000 尾の魚を、右側の円へ誘導する実証試験。制御開始から約 2 分程度で誘導が完了

なっています。

- 魚を動かす
- ◆ 上述の生体群制御は、海での養殖に活用しますが、網を用いなくて魚の動きをコントロールしようとするものです。

電気的手法を用いて水中に「壁の生成」、「生簀の生成」、「誘導路の生成」を行います。

- ◆ 実験では、10 トンの大型水槽に入れた 3 千尾の金魚の誘導に成功しています。これに要した電気はわずか蛍光灯 2 本分です。この技術は海にも適用可能です。但し、億単位の経費を要するでしょう。

過去の海洋牧場などの取り組みはことごとく失敗しており、今回のものは世界初の技術(海外との競合も無し)といえます。現在特許 3 件と商標 2 件を取得し、さらに 60 件を出願済みです。メーカーから研究したいという申し入れはありますが、購入申し込みはこれからとなります。国際特許も出願中です。

— 編 者 か ら —

本文には、古澤洋将さんが岩手経済研究 2019 年 4 月号に掲載した「新しい科学技術で 21 世紀の地域を切り拓く」の記述から引用している部分があります。

いわて未来研特別寄稿

✿ 大坂奮戦記 ✿



小川 明彦 さん

(元大阪市旭区長、元岩手県労働委員会事務局長)

「みなさ～ん！大丈夫やで！ズーザー弁でないわ。ちゃんと話わかるで。安心してや。今日は、新区長さんに初めて総会に来ていただきました。紹介します。小川新区長さんで～す」。その途端、会場は大爆笑。みなさん、本当に腹を抱えて笑っている。それは人なつっこいあったかな笑いでした。私の旭区民との対面は、この体育厚生協会の会長の粋な紹介で無事スタートしました。「誰にぬかしとんど、われ！」、大阪と言えば河内弁の強烈な印象があったのですが、この河内弁とは南・中河内の言葉。旭区は摂津の国。その昔、旭区は、船場の商家の番頭さんの貸家が多く、その船場言葉の影響か、丁寧でまろやかな感じの言葉でした。関西の人が津軽弁も山形弁も同じに思うのと同じで、私も関西弁の違いを判りませんでした。

旭区は、京都から伏見、枚方などを経由し



都構想キャンペーン 旭区出身の
アイドルグループと一緒に

大阪へ向かう京街道（現在は国道 1 号）に沿っており、大阪市の最初、玄関口です。人口は 9 万余。隣接する守口市の松下電器や三洋電機の下請けや社員が多かったそうで、割と静かな住宅街であり、大阪で 3 番目に大きな千林商店街があります。ここはダイエー発祥の地でもあります。

なんで岩手県庁の職員から大阪の区長へ行ったのか？それは偶々(たまたま)、退職を控えた 2011 年の後半、大阪市と府の統合を目指す府市統合本部での橋下市長と幹部職員たちとの議論をネットで見っていて、「そんなの岩手県では疾っくにやっているのに！」と思い、区長（シテイマネージャー＝CM）公募に書いて出したら、市長が読んでくれるかなという思いからでした。締切 4 日前。徹夜で論文を書き上げ、締切直前の深夜、郵便局に持ち込みました。4 月 1 日採用とありましたが、せめて読んでくれればと思う程度でしたので、その後本人も忘れていました。6 月に咳で呼吸困難まで起こし 3 週間も



城北公園フェスティバル 復興支援
で岩手沿岸の産物を販売

寝込みました。やっと百日咳と判って特効薬で劇的に回復した時に考えたのは、「もういつ死ぬかわからない歳になった。好きなことをやろう」でした。その直後に大阪から電話がありました。4月に間に合わなくて8月採用になったという連絡でした。大阪に行くに当たって、出身の二戸の幼馴染からまで反対されました。九戸政実の乱で秀吉軍に5千人がなで斬りにされた二戸には、今でも大阪は怖いというイメージがある一方、権威を拒み、自主自立の精神が強くある気がします。

区役所では、初めに「移動のムダ取り」をしました。私の大阪行きについて達曾知事から「岩手で育まれた行政改革が日本のあちこちで生きて行けばいい」と朝日新聞にコメントを頂いた行政改革です。職員がコピーを取るため、部屋の端まで歩いているのを見て、コピー機を真ん中に置くと年間でいくら違うか計算させました。職員が「総務課で

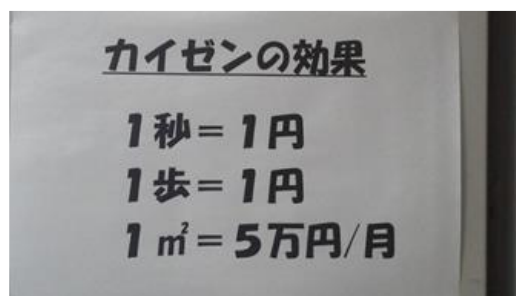


城北公園フェスティバル ケーブル
テレビで PR



橋下市長が駆けつける

200 万円、区役所全体で6 百万円ほどになります。一人分の人件費ですね」と言うのと、副区長以下みんなが「無駄やで。速よう直そ」と言って、直ぐにコピー機を部屋の真ん中に動かしてくれました。大阪人は合理的なんだと感心しました。就任1 月後には「意識改革セミナー」を始めました。1 回 10 人くらいで全職員から業務上の不満を聞き、どうすればカイゼンできるか、みんなで考える会です。いきなり職員から強烈な反対が出ました。「改革はもう結構。これ以上仕事増やさんでくれまへんか!」。聞けば、大阪市は2000 年代に入って改革に取り組んできたが、職員は改革疲れとのこと。なぜか? 市役所本庁が強烈な上意下達。これが大阪の行政の特色なんです。大阪は、豊臣氏が徳川氏に敗れ、あらゆるものを収奪されました。大阪城代は西国大名監視の強大な権力。誰も批判できなかった。加えて大阪市は財政力豊か。





ダイバシテイ推進 はるな愛ちゃんと

国との人事交流などしない独自路線。そんな組織風土の中に、橋下市長が乗り込んで、給与や手当、勤務管理に強烈に手を付けた。その市長が連れてきた区 CM（区長）というわけで、当初は抵抗感丸出し。だが、セミナーで職員がムダだと思えることを言ってもらい、どうすれば直せるかと尋ね、じゃそうしようと言い続けた。例えば、残業が多い原因は業務端末が少ない、個人に PC がいきわたっていない。入力に時間がかかる。岩手県では 2000 年頃には一人 1 台 PC 体制ができていた。この大都市大阪でなんで？そこで業務端末は年内に局に掛け合って増やし、個人用の PC は翌年度予算で全員に貸与した。そうなら大阪人、自分たちでどんどんやる。区役所は 3 階建ての古い庁舎。予算がなくて清掃も入らない。帰りには黒い靴が白くなる。しかし、直ぐに自分たちで清掃するようになり、床まで自分たちで張り替えた。「人生の 3 分の 1 いる職場が楽しくなければ」という私の信条を理解してくれた。一方で、隣接する区民センターは、自動で席が収納できる大ホール、収録できる音楽スタジオなどがある豪華な建物。大事な物にはお金をかける合理精神。徳川に負けた後 100 年で経済の中心地として復活した大阪が、どん底から這い上が



盆踊り

るのを支えたのが吝嗇(りんしょく)（ケチ）とまで言われる経済的合理性。職員に最初に教わったのが、「東京はこれなんぼしたって高いの自慢しますやろ。大阪は違いまんがな。高いもんをいくら負かして買ったかなんですわ」。デパートでも「これなんぼになるう？」って値切るのも、どん底のときの相互扶助の精神。大阪では、使える子どもの服は融通し合います。親戚当然、近所でも。「もったいないやろ」精神。

また旭区では、7 月中旬から 9 月中旬まで盆踊り、夏祭りが毎晩どこかで行われます。最初の盆踊り。かかった曲は、初めがドンパン節、次が炭坑節。小学校の校庭に櫓(やぐら)を組み、3 連になって踊っていました。50 年前の私の田舎の盆踊りそのもの。田舎ではもう無くなっているのに、この大都市大阪で今も続いている。驚きでした。明治以降、西日本の農家の次男、3 男などが労働力として入ったため農村文化を今に引き継いでいます。それもあってか、よそから来た人にやさしい。私が受け入れられたのもそれかと。絶望から生まれた経済的合理性（ケチ）と相互扶助（なんぼなるん）、そしてその中で生まれた楽しい会話、それがお笑い（諧謔）精神。「大阪って元は大坂やねん。土に反(かえ)るいうたら縁起が悪いやろ」って。権威には抗わず、自分たちでやる。なんとなく自分の田

舎と精神風土が似ていると感じました。

最後に、橋下市長。マスコミ映像とは大分違います。区長会の人事財政部会長として、都構想などに取り組みましたが、とにかくみんなの意見を聞く。議論する。病院改革では、材料費等に経営のメスを入れた方がよいと助言したら、病院経営の専門家をお願いして3年で黒字化を達成しました。私が岩手県庁で学んだこと、経験値を話すとすぐに活用してくれました。良きリーダー、尊敬できる方でした。

改革については、
「gyoumukakusin.com」又は福岡暉馬（ペンネーム）をご参照ください。



大阪市区割り地図



米 ひとめぼれ ささにしき りんご ふじ なし 長十郎

菅野 苹果

地方発送受承ります

園主 菅野 耕悦

岩手県奥州市江刺区愛宕字池向177番地

TEL 0197-35-1634
FAX

水沢公園 そば 無事故を願う親の心で教習する

大鐘の水沢自動車学校

<http://www.mizusawa-ds.com/>
奥州市水沢区大鐘町3丁目1番地 TEL0197-25-5158

税務分野別に特化した専門チーム・総合力 NO.1 の

辻・本郷 税理士法人

代表社員 本郷 孔洋(岩手県一関市出身)

税務顧問・相続・事業承継・公会計など
タイムリーにサービス提供いたします。

辻・本郷 税理士法人 盛岡支部
〒020-0021
岩手県盛岡市中央通2-11-18 明治中央ビル5階
☎ 0120-10-0606
URL <http://www.ht-tax.or.jp/>

いわて平成松下村塾
第八期(令和2. 7—9)
塾生募集中 !!!

これまでの七期で 7 市町村 18 名の塾生が巣立ちました。1 名が県議、2 名が市議として活躍中。

文

芸

コ

十一

俳句みらい

共鳴句鑑賞 副会長 岩渕 正力



◎春彼岸杖一本の暮らしかな

コロナの世景気変動春彼岸

コロナの世染まる念仏春彼岸

評 日常生活に杖が手放せなくなっている。お彼岸、先立たれた連れ合いの墓参に杖を頼りに...

杖一本に哀感がにじむ。俳句では、彼岸は春。

一工夫。

評

前職の服ばかりなり春炬燵

◎新聞包み開いて純白越し白菜

啓蟄や鏝土中三千年

評 母亡き後、私も同様の体験をしているが、私



佐々木 田三男



高橋 小秋

のは純白ならずメチャクチャ。上五、中七とも字余りなので、中七、開き、として、てを省いて見

暖冬で早や顔出しぬ路の臺

◎飛行雲眺め零戦偲ぶ春

春場所や満員御礼一休み

評 喜美治さんが元特攻隊員だったことは紹介済み。

特攻の戦友には済まぬ花の宴の旧作もある。大正

15年生。今も、雲をながめては往時を偲んでお

られる。

鈴木 正子

もう誰も叱りてくれぬ朝寝かな

◎走り来て根っこに消えし芝火かな

評 芝火が春の季語。野火や畦火と同じように、土

手や野原や畦や庭園などの枯草を焼く事。空気が

乾燥している季節なので、原野火災や山火事にな

ることもある。

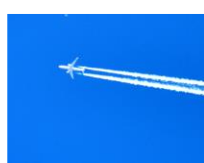


加藤 次男

みちのくの春泥重く歩きけり

◎放射能鬼も見えねど豆をまく

雛菊は星の雫に息づける



小野寺 喜美治

評 放射能と鬼を同一視するのはナンセンスだが、
いずれ人間は、手に負えない事態に直面すると、
呪いとか祈祷にすがらる。コロナウイルスにもそ
んな日が来るか。

春の虹掛かるや波の荒れし町

◎長過ぎて子等持て余す春休み
歓声の無きスタンドや球の春

評 コロナウイルス対策として、子供達の春休み
に臨時休校が加わり、遊びざかり、育ちざかり
の子供達は欲求不満。早期終息を願うのみであ
る。

◎涅槃寺なぜか風鈴けたたまし

啓蟄や猫の帰りの遅いこと

碧き道墓まで続く犬ふぐり

評 涅槃とは、お釈迦様が亡くなられたことで、
陰暦二月十五日とされる。涅槃図を掲げ涅槃会
を修する寺を涅槃寺という。正法寺の涅槃図が
有名。なぜか、涅槃図までの廊下に冬でも風鈴
が吊ってあり、ブルツとする。



田村 香子



種田 勝



啓蟄や農機の捻子をしめなほす
静けさや芽吹き聞こゆる埴輪丘

◎父の忌や母の幻よもぎ摘む

評 句意から推して、父の忌は草餅の時季だつた
のだろう。その時季になると、母は蓬を摘んで
草餅を父に供えていた。その母も逝った。母の
まぼろしだけが蓬を摘んでいる。

春の風邪絵本を開く待合室

向かひ風に必死に進む春鴉

◎「ぴいひよろろ」 鳶の舞台の大春田

評 おおよその鳥の恋は春となっているようだが、
鳶もそうだろうか。わが家の田んぼ上空も、下
界の獲物はさて置いて、鳶の恋の鞘当てでにぎ
わう。

近 詠

四月馬鹿などでは済まぬ今日なるぞ

正力

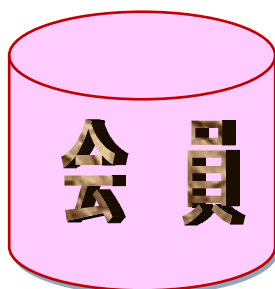


渡辺 タエ子



中村 セイ子





◆ 「風土」と私 ～人の生き立ち
と自然から学ぶ地域づくり～ ◆

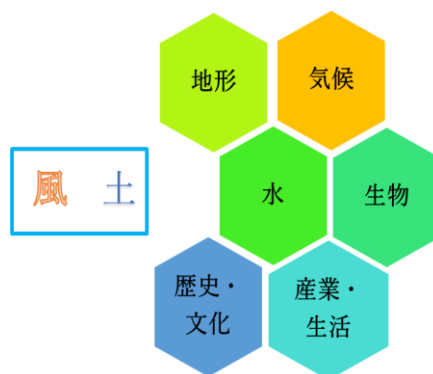


永山 克男

((株)東日本コンサルタント代表取締役、
NPO 法人風土工学デザイン研究所研究員、
修士(環境防災)、一関市)

私は、岩手県金ヶ崎町中心部から西に 7.5 km の奥羽山脈の麓、今でいう”里山”で生まれ育った比較的健康な 72 歳の老人です。

これまで東京、仙台等で道路・河川・地域づくり等土木の計画、設計に約 50 年携わってきました。今振り返ってみると、生まれ育った土地、自然との精神的捉え方、モノづくりと地域の在り方といわゆる、「風土」との関係性の大切さを知り、人生のテーマとして取組んできました。遅きに失した感も否めませんが、ここで皆さんと「風土」を共有し理解して頂ければありがたいと思います。近年地方は少子高齢化に伴い、疲弊し失われつつある背景を踏まえ、人々と風土とのかかわりの大切さ、地方の良さ、モノづくりを「風土」の視点で捉え、再確認し人口の減少に歯止めがかかる一助にな



れば幸いです。

これまで「風土学、地域の力、風土工学」等の学説、文献が多くの諸先輩、研究者により世の中に発表され、一般の方々に感銘を与え理解されつつあります。その中で学説ごとに表にまとめ研究者の成果の概要を紹介しますと下表のとおりです。

ここから、少しばかりの小生の風土研究の一部を紹介させて頂きたいと思います。

自分が生まれ育った里山環境と、「風土工学」に出会ったことから私は、地域とモノづくりに対する考えが 180 度変わりました。モノづくりは「風土を知り、敬い、馴染む」ことを原則とし、最初に風土とは何か、そしてその風土の構成要素を文献で読み、地域を見て、住む人々から聞く、の 3 つの手法でモノづくりの基本としました。60 歳を過ぎ静岡と仙台で社会人として 5 年間学びました。その中でいえることは「人に個性があるように地域にも個性があり」五感で感じることです。正に「読む、見る、

聞く」が風土研究の五感の始まりで、収集した地域資産を六大風土資産という名で分類します。人間は五体で構成されているように、風土も六大資産で構成されていると定義をつけるものです。皆様には初耳かも知れませんが、地域を構成する要素は自然的風土の地形と気候、水（海、川、湖、堤など）、生物（植物、魚、動物等）の 4 つと人文的風土の歴史・文化と産業・生活の 2 つ合計 6 つで成り立つとことを原則としています。これを基本に 1 つの研究事例を紹介します。研究地は、宮城県歌津町と志津川町（現、南三陸町）で、平成 20～22 年の 2 ヶ年の調査、テーマを「南三陸歌津の風土を基調としたダムデザイン計画」と設定しました。 調査の結果、^{たつがねさん}田東山に藤原時代の寺院跡が現存し、海にはウタツギョリュウ化石が発見されたことから「田東山とウタツギョリュウ」をキーワードに、「海と山と竜の里」をコンセプトに設定し、ダムのデザイン計画を進めました。研究成果として、ダム本体は「竜とお坊さん」を親柱に、ダム湖を「田東湖」と命名し、橋梁には「すずかけの橋」と橋名を提案しました。更に、創作物語として「田東龍物語」など風土資産からユニークな研究を行いました。これらは、これまでの「最適化原理（コストパフォーマンス）」から「個性化原理（地域資源活用）」と地域に馴染む計画で新しい提案と考えます。更に、平泉町を研究地とした「風土を基調としたまちづくりの考察」～平泉の風土資産からの提言～計画行政学会に投稿し、新たな地域づくりの手法として多くの議論を交わしました。 地域には個性、誇りとなり、心を豊かに育む風土が存在します。地域に住む人々は、この美しい風土を忘れがちです。風土を発掘し、地域に自信とプライドを持ち生きていくことが大切です。皆で「風土」を探しましょう。「景観十年、風景百年、風土千年」	
---	--

風土に関する研究者たち

研究者名	研究者分類	主張の概説	主な著書・文献等
和辻哲郎	哲学者、倫理学者、文化史家、日本思想家	風土とは人間の生き方そのもの「人間が己を見出す仕方」	「風土 人間的考察」「古寺巡礼」「倫理学」
オギユスタン・ベルク（仏）	地理学者 東洋学者	環境と人間の不可分の関係に根差す「通態性」	「風土の日本」「日本の風景・西洋の景観」「風土学序説」
三澤勝衛	地理学者	「地域個性」「地域力」=「風土力」実践により集大成	「三澤勝衛著作集 4 刊」
佐佐木綱	交通工学者 風土工学者	「風土分析とイメージ分析による風土工学の先駆者」	「景観十年、風景百年、風土千年」「交通工学分野」
竹林征三	ダム工学者 風土工学者	「風土工学の学問を定着」「風土を知り、敬い、馴染むモノづくり」	「風土工学序説」「風土工学環境等学会発表多数」

いわて未来研十年を振り返って①

★ 設立発起人会

平成 22 年 4 月 27 日に奥州市内水沢自動車学校において、19 名の設立発起人の承引のもと設立発起人準備会が開かれました。地元新聞の報道も加わって会員の募集も順調に進み、5 月 15 日には市内外から 24 名が参加し、設立発起人会が開催されました。



設立総会

★ 設立総会

平成 22 年 6 月 26 日、快晴の中、水沢公民館で 111 名の出席(うち本人出席 61 名)のもと設立総会が開催され、定款(設立当初の役員を含む)、事業計画・予算が決定されました。会員数 239 名(個人・法人)にていよいよスタートしました。



★ 事務所と看板設置

事務所は、水沢自動車学校経営者のご配慮で、同校顧問室に置くことができ、会員会社から大型書類棚(ロッカー)の寄付もいただきました。8 月 3 日には看板設置式も行われました。



看板設置式

★ 会報創刊号発行

平成 22 年 8 月 20 日付で会報創刊号が 300 部発行されました。

総会等延期のお詫びとお知らせ

さきの会報(R2. 2. 7 第 39 号)におきまして、令和 2 年度の総会並びに十周年記念式典を 5 月 16 日(土)の予定とお知らせしておりましたが、新型コロナウイルス対策の一環で延期やむなしの判断に至りました。このことをお詫び申し上げますとともに、ご理解をお願いいたします。

今後の予定としましては、法令及び定款に沿い(NPO 法人を監督する行政庁に確認済み)、総会及びそれに先立つ理事会を書面により開催することとしております。その時期は、理事会については 5 月に、総会については 6 月にと考えております。

また、十周年記念式典につきましては、現段階で 11 月を予定しております。何とぞよろしくお願い申し上げます。

会長 相原 正明

最終頁(P16)―別掲